

国土交通省、北九州市及び北九州市道路公社は、平成24年度の開通をめざして整備中の新若戸道路のトンネルの名称案を一般公募しておりましたが、名称選考委員会を開催し名称を決定しました。

わかと 若戸トンネル

【選定理由】

若戸は地域で親しまれてきた名称であり、平易で理解しやすく応募数が最も多い。

馴染みのある言葉で構成されており、未永く、多くの人々に親しまれ、愛されることが期待できる。

【応募状況等】

平成23年4月15日から5月16日の間に、一般公募を行い、787件の名称案をご応募いただきました（「別紙2」参照）。名称の種類は460種もあり、応募の中には「くきのみなとチューブ」「海の夢道」「若戸ひまわりトンネル」「若戸ロマン海道」「洞海湾ゆめトンネル」など個性あふれる名称の応募もたくさん寄せられました。

トンネル名称一般公募の応募結果概要

◆応募総数： 応募者数 630人 応募名称数 787件

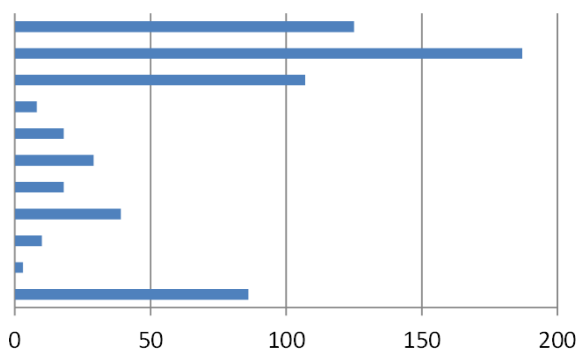
名称案集計結果

応募区分	応募者数			応募名称数		
	北九州市	北九州市以外	計	北九州市	北九州市以外	計
はがき	401	18	419	507	21	528
FAX	125	2	127	132	11	143
メール	63	21	84	77	39	116
合計	589	41	630	716	71	787

応募案件は、延べ数であり同一案の重複分を含む。

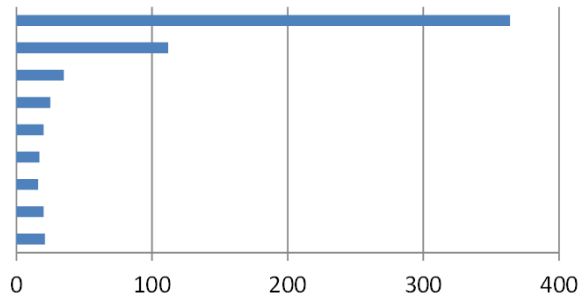
年齢別割合

10才未満	125人	19.8%
10才代(小学5・6年生)	187人	29.7%
10才代(中学生以上)	107人	17.0%
20才代	8人	1.3%
30才代	18人	2.9%
40才代	29人	4.6%
50才代	18人	2.9%
60才代	39人	6.2%
70才代	10人	1.6%
80才以上	3人	0.5%
不明	86人	13.7%
計	630人	



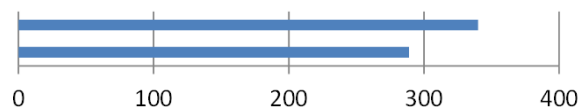
住所別割合

北九州市若松区	364人	57.8%
北九州市戸畑区	112人	17.8%
北九州市八幡西区	35人	5.6%
北九州市門司区	25人	4.0%
北九州市小倉北区	20人	3.2%
北九州市小倉南区	17人	2.7%
北九州市八幡東区	16人	2.5%
福岡県内その他	20人	3.2%
県外等	21人	3.3%
計	630人	



性別割合

男性	340人	54.0%
女性	290人	46.0%
計	630人	



○名称案の応募状況

応募数上位ランキング

順位	名称案	応募数
1	若戸トンネル	82
2	若戸海底トンネル	29
3	洞海トンネル	26
4	わかとトンネル	16
5	わかまつトンネル	15
6	若松トンネル	11
7	ひびきトンネル	10
8	新若戸トンネル	10
9	洞海湾トンネル	9
10	くきのうみトンネル	8
11	若戸大トンネル	7
12	かっぱトンネル	6
13	どうかいトンネル	6
14	若戸海中トンネル	6
15	若戸洞海トンネル	6

参 考

新若戸道路のトンネル名称選考委員会出席者名簿

敬称略

氏 名	役 職
選考委員長 伊 藤 解 子	北九州大学都市政策研究所教授
大 庭 卓 朗	若松区自治総連合会 会長
木 下 憲 定	戸畑区自治総連合会 会長
藤 澤 常 憲	北九州市建設局 局長
林 田 康 孝	北九州市建築都市局 局長
中 崎 剛	北九州市港湾空港局 局長
西 岡 陸 郎	北九州市道路公社 理事長代理（事務局長）
石 神 勉	北九州市若松区役所 区長
柏 木 康 彦	北九州市戸畑区役所 区長
吉 田 秀 樹	国土交通省九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所長

若戸トンネルの整備概要

- 1) 整備箇所：北九州市戸畑区と若松区を結ぶ海底トンネル
- 2) 整備期間：平成 12 年度～平成 24 年度
- 3) トンネルの概要
 - ・延長：1,181m（道路全長約 2,300m）
 - ・構造：沈埋トンネル、陸上トンネル及び掘割部
 - ・幅員：4 車線
- 4) 整備効果

完成イメージ（トンネル中央付近）



- ① 交通渋滞の緩和

周辺道路とのスムーズな接続により交通渋滞が緩和され、走行時間の短縮と走行経費の減少が図られる。
- ② 安全性の向上

大型車輛の市街地への流入の減少、渋滞の緩和により、交通事故の減少と安全性の向上が図られる。
- ③ 災害時におけるリダンダンシーの確保

災害時において、企業の円滑な操業が可能となる。

